



元持 勝利

社団法人東北経済連合会 副会長

ILCを震災復興のシンボルに

みなさん、ILCをご存じでしょうか。

私も詳しくはありませんが、本題に入る前に、わかる範囲で簡単にご説明します。

ILCは、「国際リニアコライダー」の英語表記の頭文字をとっています。リニアは「直線」、コライダーは「加速器」の意味です。地下数十メートルに、30から50kmの直線型の加速器を設置し、電子と陽電子を光速で衝突させる。それで何がわかるかという、137億年前に起きたとされる宇宙創成時(ビッグバン時)の素粒子の動きなどを再現し、宇宙誕生の謎に迫ろうというものです。もちろんそればかりではありません。ITや医療などの先端技術にも応用されることが期待されており、その波及効果は計り知れないと言われております。

この加速器建設の有力な候補地として岩手県の北上山地があげられております。国内では他に佐賀県と福岡県にまたがる地域があがっており、海外では、ILCの類似施設のあるスイスのセルンやアメリカのシカゴなどの名前があがっております。

なぜ北上山地かという、同山地は良質の花崗岩でできており、専門家による地質調査でもその安定性が評価され、また、なぜ日本かという、素粒子物理学の分野で、何人ものノーベル賞受賞者を輩出している「素粒子物理学の先進国日本」ということが大きな要因になっているからだと思えます。

東北経済連合会では、東北大学と連携し、平成21年4月に「東北加速器基礎科学研究会」を立ち上げ、ILCに対する一般市民の啓発に取り組んでおり、当岩手県商工会議所連合会でも独自に講演会などを開催し周知に努めてまいりました。そのような中で3月11日に「東日本大震災」が発生いたしました。震災につきましては、すでにご承知のとおりで、ここでは繰り返しません、いずれ未曾有の大災害でした。家屋を流し、家族を失った多くの方々の悲しみはいかばかりでしょうか。

今、東北には「夢」と「希望」が必要です。特に子供さんには、宇宙誕生の謎を解くこの研究施設は、大きな夢を与えるものと確信しております。最近、ILCについて、閣僚の積極的な発言が目立ってきました。政府も、やっと重い腰を上げたようです。

ILC誘致は、東北の夢です。震災復興のシンボルとしてILC誘致実現に、どうかみなさんの暖かいご支援をお願い申し上げます。

(岩手県商工会議所連合会 会長・もともち かつとし)